

図1 1月の質量流線関数 (単位: kg/sec)

上: オイラー平均 中: TEM 下: P_t 解析
 NCAR-CCM1 の永久1月積分の解析 (I89)

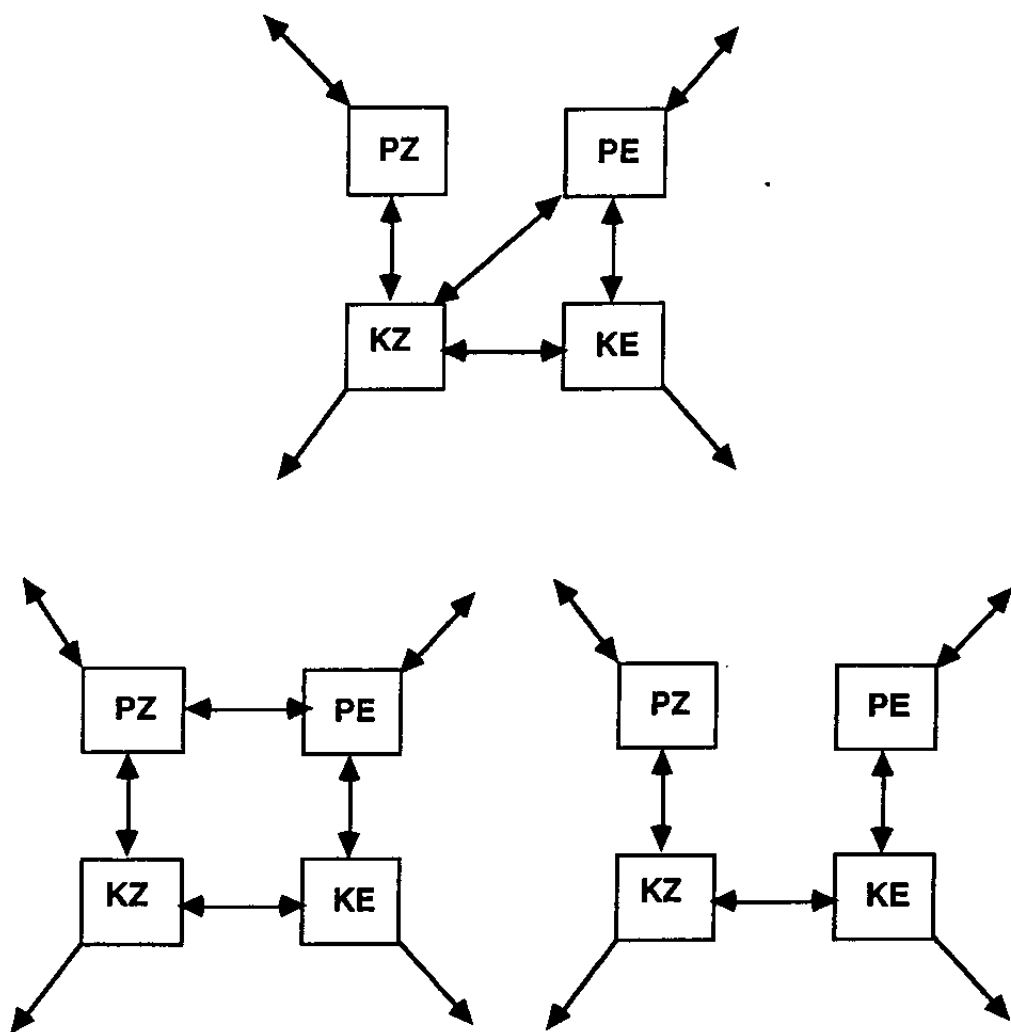


図2 大気のエネギーサイクル

上： P_1 解析 下左：オイラー平均 下右：TEM

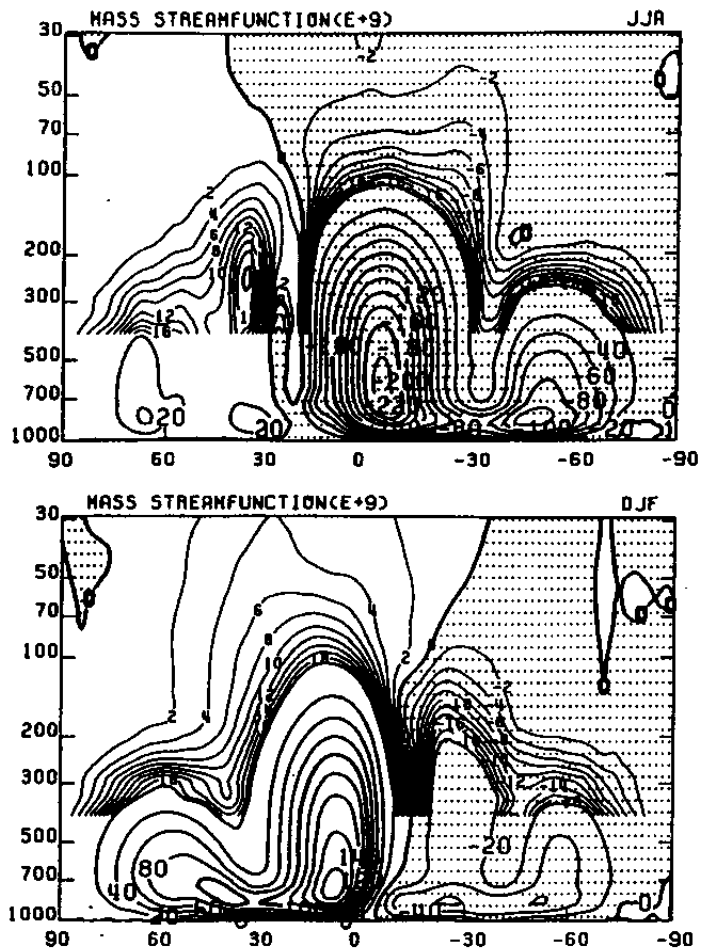


図3 P_{\uparrow} 解析による質量流線関数 (単位: kg/sec)
 上: 6、7、8月平均 下: 12、1、2月平均
 NCAR-CCM1の1年積分 (192)

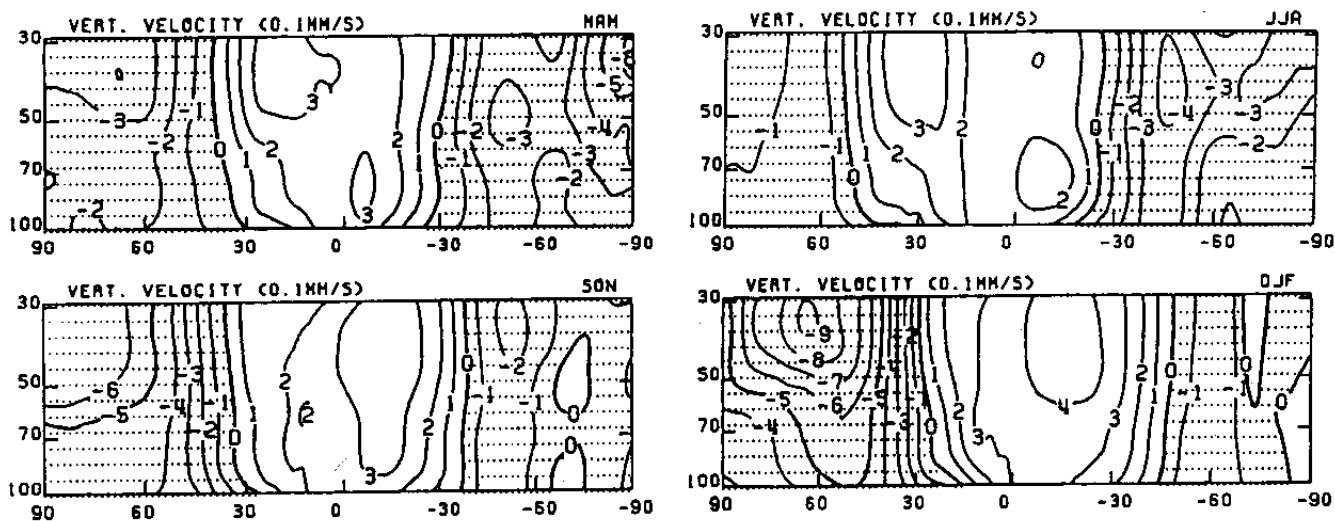


図4 P_1 解析による平均鉛直流(単位: 0.1mm/sec)

上左: 3、4、5月平均 上右: 6、7、8月平均

下左: 9、10、11月平均 下右: 12、1、2月平均

NCAR-CCM1の1年積分(192)

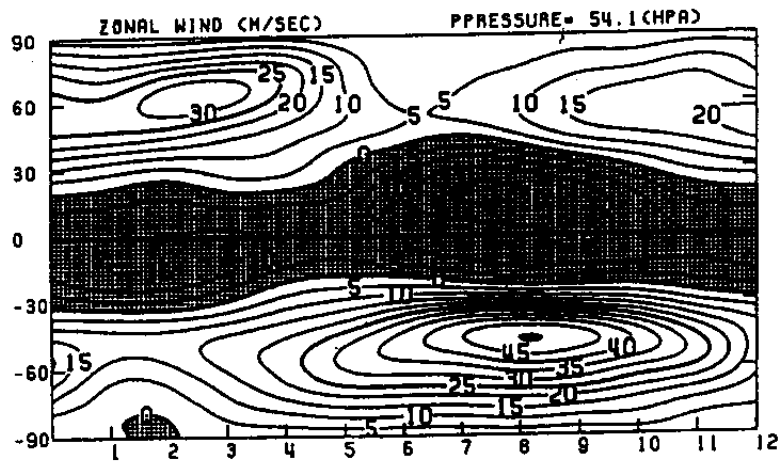
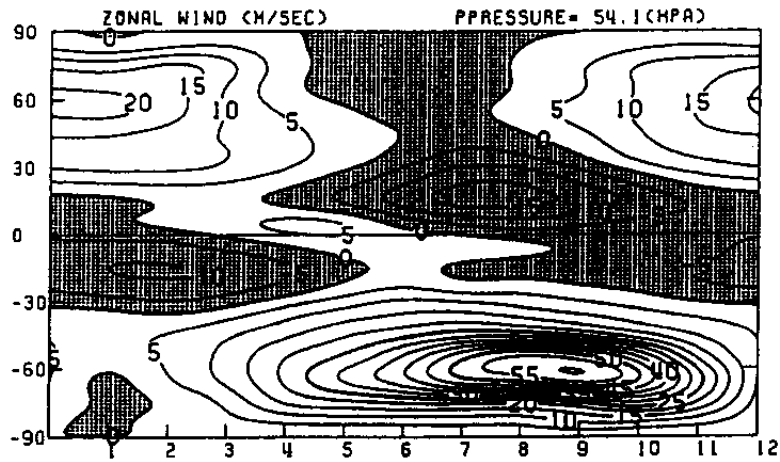


図5 成層圏 541hPaにおける東西風(単位: m/sec)

上: 客観解析 (1984-1986年の平均)

下: NCAR-CCM1の1年積分 (1992)

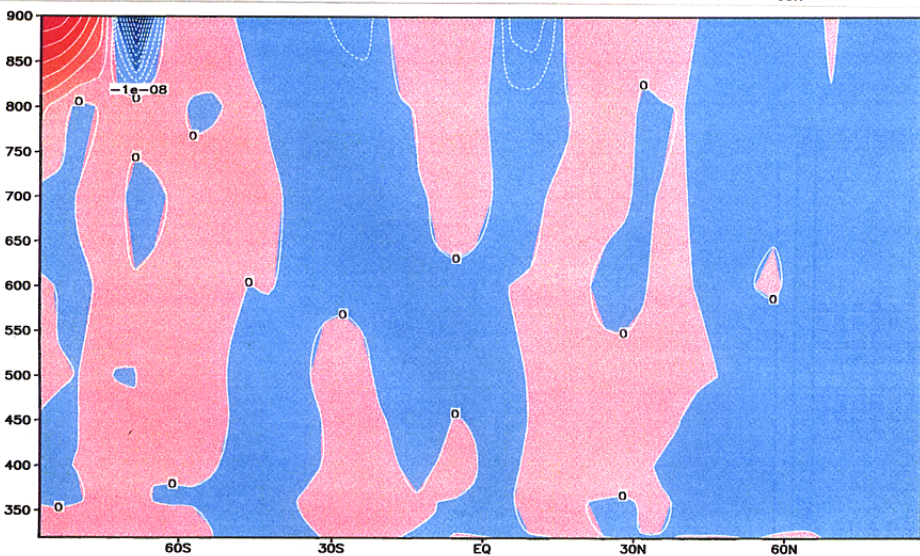
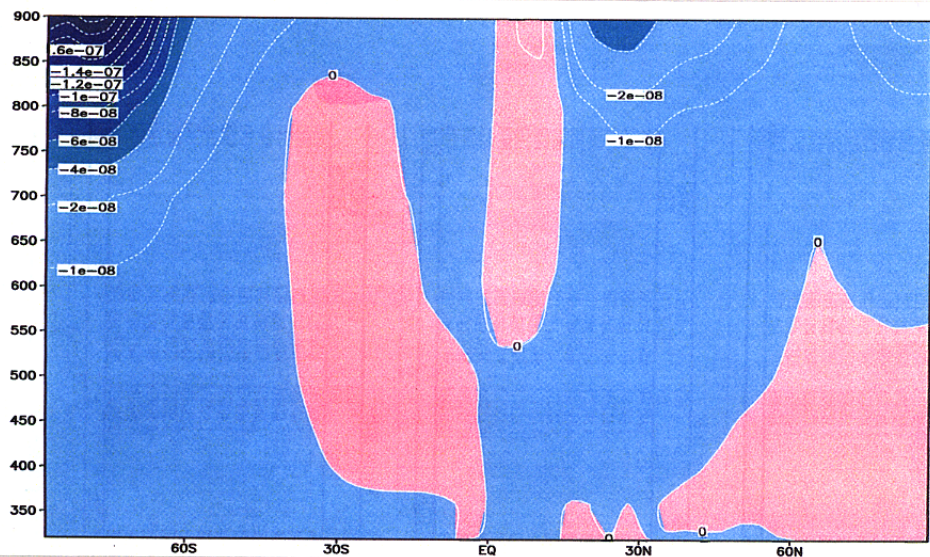
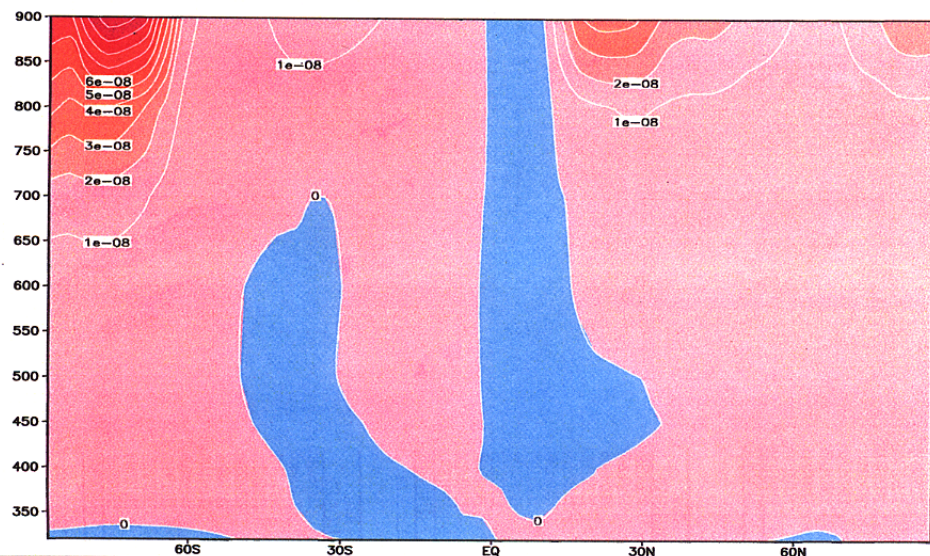


図6 大気大循環モデルによる温位面上の渦位変化率 (単位: $\text{m}^2 \text{sec}^{-2} \text{Kkg}^{-1}$)

6、7、8月の3ヶ月平均で縦軸は温位

上: 非断熱加熱による生成項による変化率

中: 非断熱加熱による鉛直移流項による変化率

下: 水平渦輸送項による変化率

* 気象庁モデル (T63L30) による南半球の冬季の結果